

各位

会社名 株式会社タカキュー  
 コード番号 8166  
 問合せ先 常務取締役 管理副本部長  
 大場 通孝  
 TEL(03)5248-4100

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 14 年 4 月 19 日の決算発表時に公表した業績予想を下記の通り修正します。

### 記

1. 平成 15 年 2 月期中間業績予想数値の修正(平成 14 年 3 月 1 日～平成 14 年 8 月 31 日)  
 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年4月19日発表)	9200	△60	△160
今回修正予想(B)	9110	△140	10
増減額(B-A)	△90	△80	170
増減率	△1.0	—	—
前期(平成14年2月中間期)実績	10777	△387	△1825

2. 平成 15 年 2 月期通期業績予想数値の修正(平成 14 年 3 月 1 日～平成 15 年 2 月 28 日)  
 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年4月19日発表)	19000	300	55
今回修正予想(B)	18900	140	90
増減額(B-A)	△100	△160	35
増減率	△0.5	△53.3	63.6
前期(平成14年2月期)実績	21379	△170	△2852

### 3. 業績修正の理由

消費低迷の厳しい経済環境の中、期初に掲げた重点施策(プライベートブランドの強化確立・店舗タイプ別戦略推進・提案型販売の強化)を推進してまいりましたが、売上高については計画を若干下回ることとなりました。

商品粗利率は、プライベートブランドの売上比率向上とSPA化の推進により前年同期比 1.9%の改善となっております。

経費は催事・販促費等により約 30 百万円増加。また、営業外費用で貸倒れ引当を約 30 百万円計上し経常利益は当初予想を下回る見込であります。

当期純利益につきましては、貸倒れ引当金戻入益 192 百万円を計上することにより当初計画を上方修正しております。

なお、営業利益は平成 3 年 2 月期中間以来 12 期ぶり、当期純利益は平成 2 年 2 月期中間以来 13 期ぶりの黒字化を見込んでおります。

通期業績につきましては、中間業績を勘案し売上高、経常利益を予想しておりますが、引き続き重点施策の推進に努め、当期純利益黒字化を確実なものとしてまいります。

以上